

第9回 医療の未来を考える会

病院の生き残り戦略～病棟再編と地域包括ケア病棟～

2016年春の診療報酬改定により、7：1看護基準の病床をもつ急性期病院は医療看護必要度や在宅復帰率の変更により、大きく変革を求められます。急性期病院が急性期であり続けるためには、病床再編が必須となります。今回は2つの事例を通して、病床再編と今後の医療について考えてみたいと思います。

地域包括ケア
病棟

7:1<10:1
病棟

病床再編

- ・ テーマ「病院の生き残り戦略～病棟再編と地域包括ケア病棟～」
- ・ 日時:4月16日(土) 午後3時半～(開場)
午後4時～午後6時半 終了後に懇親会を開催
- ・ 定員:60名(先着順、要申込み)
- ・ 参加費:3,000円(資料代込み)
- ・ 会場:ハロー貸会議室新橋H
東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル8階802
<http://www.hello-mr.net/detail/?obj=90>
交通 JR山手線 新橋駅 烏森口徒歩1分



- 講演 1. 「ケアミックス病院でこそその地域包括ケア病棟(仮)」
山口 浩一氏(奥州病院. 経営改善対策室)
- 2. 「急性期病院における地域包括ケア病棟の活かし方」
井上雅博(大田記念病院 地域支援部)

■ お申込み・お問い合わせは右記まで <http://bit.ly/IryoMirai09>

医療の未来を考える会 HP: <http://mjl2010.jimdo.com/>